

「外国人雇用状況」の届出状況【概要版】（令和2年 10 月末現在）

神奈川県労働局

1 外国人労働者の状況

労働者全体の状況について（P1、2）

外国人雇用労働者数は 94,489人。

前年比で 2,908人（3.2%）増加し、過去最高を更新したが、増加率は前年の15.6%から大幅に低下（12.4ポイント減）

産業別にみると、「宿泊業、飲食サービス業」等において対前年増加率が低下しており、新型コロナウイルス感染症の影響等により雇用情勢に厳しさがみられる中、外国人労働者についても影響が生じているものとみられる。

○国籍別の状況（P3）

労働者数が多い上位3か国

・中国	24,804人	（全体の 26.3%）	[前年同期比 3.1%増]
・ベトナム	18,243人	（同 19.3%）	[前年同期比 6.8%増]
・フィリピン	12,276人	（同 13.0%）	[前年同期比 3.2%増]

増加率が高い上位3か国

・インドネシア	2,632人	[前年同期比 8.0%増]
・ベトナム	18,243人	[前年同期比 6.8%増]
・ネパール	5,476人	[前年同期比 3.7%増]

○在留資格別の状況（P4）

労働者数が多い上位3資格

・身分に基づく在留資格	40,440人	（全体の 42.8%）	[前年同期比 2.6%増]
・専門的・技術的分野の 在留資格	22,322人	（同 23.6%）	[前年同期比 8.8%増]
・資格外活動	15,289人	（同 16.2%）	[前年同期比 8.8%減]

増加率が高い上位3資格

・技能実習	14,046人	[前年同期比 11.1%増]
・専門的・技術的分野の 在留資格	22,322人	[前年同期比 8.8%増]
・特定活動	2,385人	[前年同期比 6.0%増]

・平成31年4月に創設された「特定技能」の労働者数は 260人。

2 事業所の状況

○事業所全体の状況について（P1、2）

外国人を雇用している事業所は16,925か所。前年比で1,280か所（8.2%）増加し、過去最高を更新したが、増加率は前年12.4%から4.2ポイントの減少。

○事業所規模別の状況（P7、10）

- ・「30人未満事業所」が最も多く、事業所全体の 57.5%、外国人労働者全体の 34.1%を占めている。
- ・事業所数はどの規模においても増加しており、特に「30人未満事業所」では、前年同期比で 7.9%の増加であり、最も大きな増加率。

3 産業別の状況

- ・外国人労働者は「製造業」が最も多く、外国人労働者数全体の 26.9%を占めている。
- ・外国人労働者を雇用する事業所は「卸売業、小売業」が最も多く、外国人を雇用する事業所全体の 19.7%を占めている。
- ・「建設業」や「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の構成比は外国人労働者、外国人労働者を雇用する事業所ともに増加。（P6、8）
- ・外国人労働者数の対前年増加率をみると、「宿泊業、飲食サービス業」が3.4%（前年比17.5ポイント減）、「サービス業（他に分類されないもの）」が3.2ポイント（同18.6ポイント減）、「製造業」が-1.7%（同6.6ポイント減）、「卸売業、小売業」が8.9%（同14.1ポイント減）と、産業ごとに異なるもののいずれも前年と比較して低下している。（参公表-6参照）

4 派遣・請負の状況

- ・外国人労働者を雇用している事業所のうち、労働者派遣・請負業を行っている事業所数は 1,404か所（事業所全体の 8.3%）。前年同期比で 60か所（4.5%）増加。
- ・労働者派遣・請負業を行っている事業所に就労している外国人労働者数は 16,561人（外国人労働者全体の 17.5%）。前年同期比で 358人（2.1%）減少。（別表2、参考表-1参照）